

樋口隆一 (明治学院大学名誉教授・一般社団法人樋口季一郎中将顕彰会会長)



# ここに日本軍の真の姿がある！ ユダヤ難民を救い、北海道を守った 樋口季一郎 中将

## ●樋口隆一氏談(樋口中将孫)

大東亜戦争末期、第5方面軍司令官として樺太、千島、北海道防衛の責を負った樋口は、シベリア出兵以来対ソ情報の最前線を歩み続けた経験から、日ソ中立条約の有無にかかわらずソ連の侵攻はありうると確信していた。果たしてソ連は中立条約を一方向的に破棄し、まず樺太、次いで千島列島最北端の占守島に侵攻した。スターリンは、その違法行為を日露戦争とシベリア出兵への復讐戦と位置付け、まず留萌に上陸し、不凍港釧路を確保し、さらに北海道全島のみならず東北地方の占領、首都東京の分割統治を意図していた。パツハ研究者・指揮者として東西分割時代のドイツで研究生生活を送った論者は、ドイツの悲惨を体験し、はじめて祖父季一郎の決断の正しさを実感した。祖父が戦後の困窮の中で書きためた『陸軍中将樋口季一郎の遺訓 ユダヤ難民と北海道を救った将軍』(勉誠出版、2020年)、『陸軍中将樋口季一郎回想録』復刻新版(啓文堂書房、2022)を世に出したのはその思いからである。今後の議論に資することができれば幸いである。

## 略歴:

昭和21年東京生まれ。慶應義塾大学文学部卒。同大学院博士課程在学中にドイツ国費留学。テュービンゲン大学哲学博士。『新パツハ全集』校訂事業に参画。帰国後は音楽学者、評論家、指揮者として活躍。明治学院大学文学部に芸術学科を創設。同文学部長、図書館長、理事を歴任。元国際音楽学会副会長。『パツハ』(新潮文庫)、『パツハ カンタータ研究』(音楽之友社)など著訳書多数。『マタイ受難曲』、『パツハ:カンタータ傑作集』などCD多数。

京都音楽賞研究評論賞、オーストリア学術芸術功労十字章、テオドル・ベルヒェム賞(ドイツ)受賞。



佐藤和夫 (樋口季一郎中将顕彰会理事)

## 「樋口季一郎中将銅像設立への歩み」

昭和21年生 慶應義塾大学法学部卒 東部方面総監部会計課長(平成14年退官)  
十里木別荘管理株式会社社長(平成23年退職) 英霊の名誉を守り顕彰する会会長



日時 令和4年(2022年)11月5日(日) 午後1時30分開場 午後2時開演

会場 文京区民センター3階A会議室(東京都文京区本郷4-15-14)

東京メトロ丸の内線・南北線「後楽園駅」5分 都営「春日駅」1分

会費 1,000円 予約必要ありません



アジア民主化運動  
Asian Democratic Movement

主催 小島孝之(アジア民主化運動代表) 連絡先 03-5840-6460 090-2329-2352

E-mail: kasiademo@fij.tokyo HP asian.or.jp Twitter @ADM JAPAN

YouTube「アジア民主化運動 小島孝之」カンパ先 みずほ銀行本郷支店 普通 2841209 アジア民主化実行委員会

後援 新しい歴史教科書をつくる会

賛同者(50音順) 荒岩宏奨(展転社代表取締役) 荒木和博(拓殖大学海外事情研究所教授)

小野寺彰(文京区の学校教育を考える会会長) 川端幸夫(集広舎代表) 込山久夫(新しい歴史教科書をつくる会東京支部長)

小林秀英(チベット問題を考える会代表) 齊藤文彦(東京郷友連盟) 佐藤和夫(英霊の名誉を守り顕彰する会代表)

鈴木信行(前葛飾区議会議員) 高池勝彦(新しい歴史教科書をつくる会会長) 藤岡信勝(通州事件アーカイブス設立基金代表)

藤田裕行(国際問題研究所所長) 村田春樹(今さら聞けない皇室研究会顧問) 茂木弘道(史実を世界に発信する会代表)

### <カンパのお願い>

天安門集会、北京オリンピックボイコットなどアジア人権運動関係は、いつも20万円を超えるご寄付をいただき、次回へ繰越金を出しています。この度の「大東亜戦争連続講演会」につきましても、趣旨にご賛同いただける方のご協力をお願いする次第です。よろしくお願いいたします。

一口 3,000円

振込先 「アジア民主化実行委員会」 みずほ銀行本郷支店 普通 2841209